

# 払拭 —高架下生活と周辺地区を繋ぐ木のまち—

A20AB110 藤田紗帆



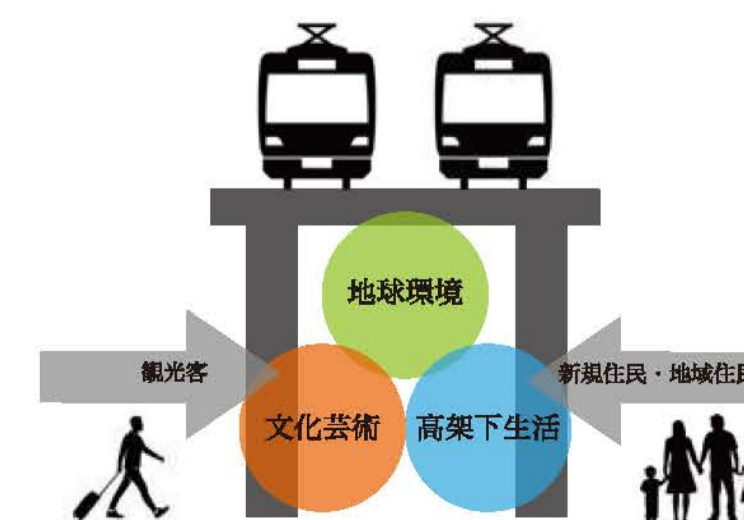
## 背景

対象敷地である愛知県半田市は赤レンガ建物や半田運河、醸造文化や新美南吉など様々な歴史や文化をもつ市である。また、半田市の人口は減少傾向にあるが、外国人の人口は増加傾向にある。さらに、現在 JR 半田駅前地区と名鉄半田駅前地区を中心とした地域の高架化が進められている為、半田市の高架化を対象地区として高架下空間の設計提案を行う。加えて、半田市は半田芸術推進計画や半田市 SDGs 宣言団体などの活動を行っており、環境や文化芸術に力を入れている市である事が分かった。

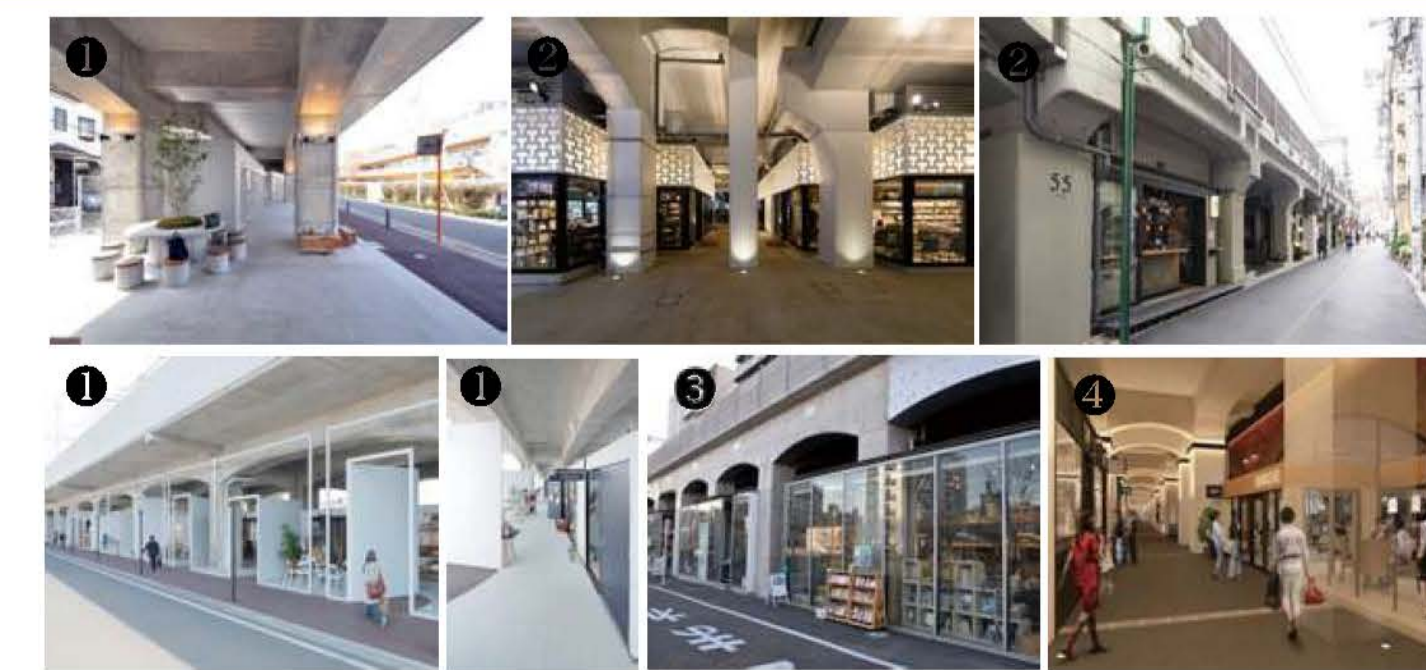


## 目的

鉄筋コンクリート造の高架に地球環境を配慮した緑化や木質化を取り入れ、線路で分断されてしまっていた半田市の高架下と周辺を繋ぐ木のまちづくりを目指す。



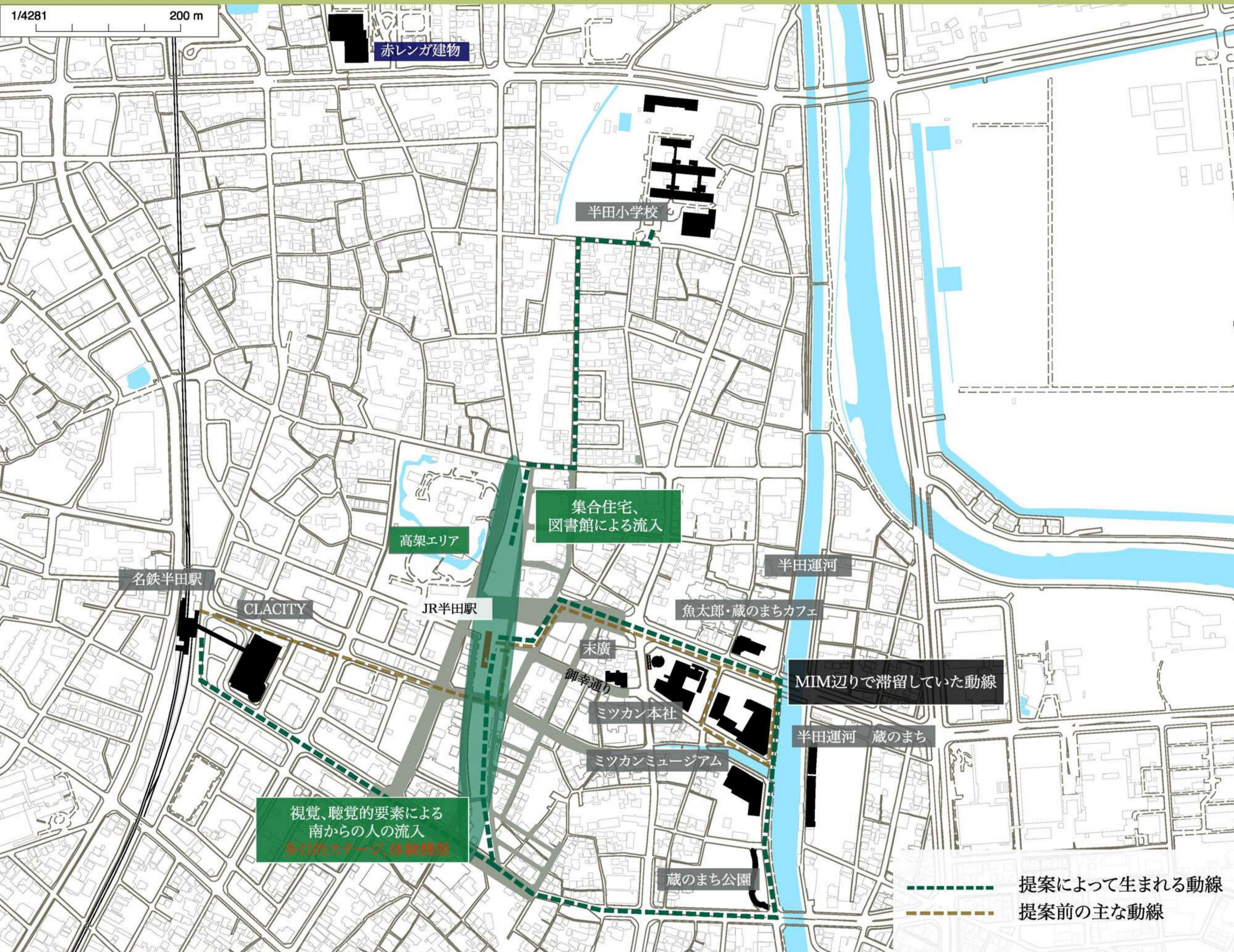
## 位置付け



高架下空間における木のまちづくりを目指した緑化と木質化、高架下生活の事例・研究はない。

出典：① コミュニティメーション東小倉 <https://dre-white.co.jp/work/20141031/>  
 ② 中目黒高架下 <https://www.juacreative.co.jp/works/2016/11/nakamegurokuashita/>  
 ③ 目黒谷OKUJOII [http://nasepco.com/research/taery\\_id60](http://nasepco.com/research/taery_id60)  
 ④ <http://nabi-labo.com/2024/04/tbtv-okujo/>  
 ⑤ <https://c-nrui.ac.jp/>

「高架下 空間」66 件  
 「高架下 建築」130 件  
 「高架下 緑化 木質化」0 件  
 「高架下 SDGs」0 件  
 「高架下 高架下生活」0 件  
 「高架下 木のまち」0 件

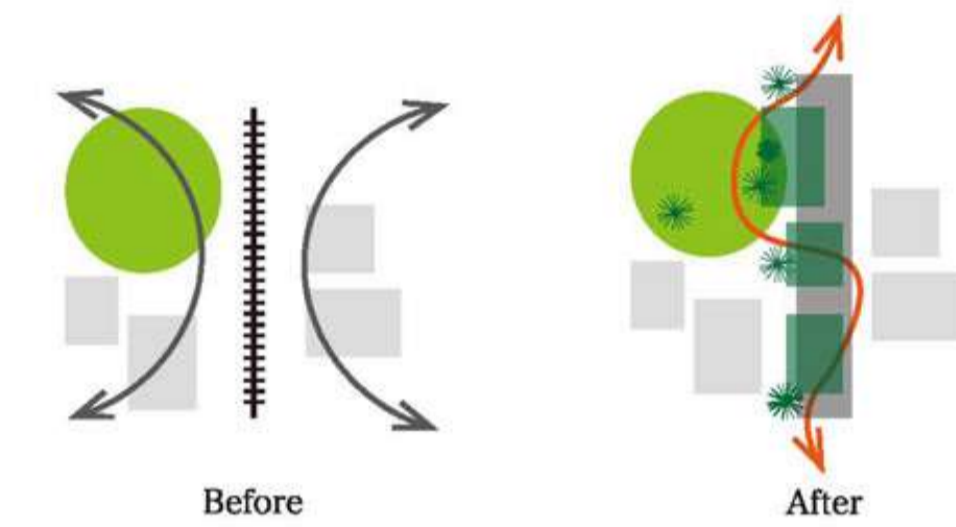


半田市は、歴史のある建物や観光地も関わらず、ミツカンミュージアム辺りで人の動線が滞留していた。その為、南側に視覚・聴覚的機能である多目的ステージや体験施設を設ける事で滞留していた人々を高架の南側へ誘導する役割を果たす。加えて、オフィスと多目的展示空間、複合体験施設により、産業の発展に加え、文化芸術による観光客や外国人移住者との新たな非言語交流が生まれる。

北側には小学校があり、中央にはJR半田駅が位置する為、北側は新規住人をターゲットとした機能である集合住宅や図書館託児所を設ける事で主に子供連れや学生を高架下に誘導する。

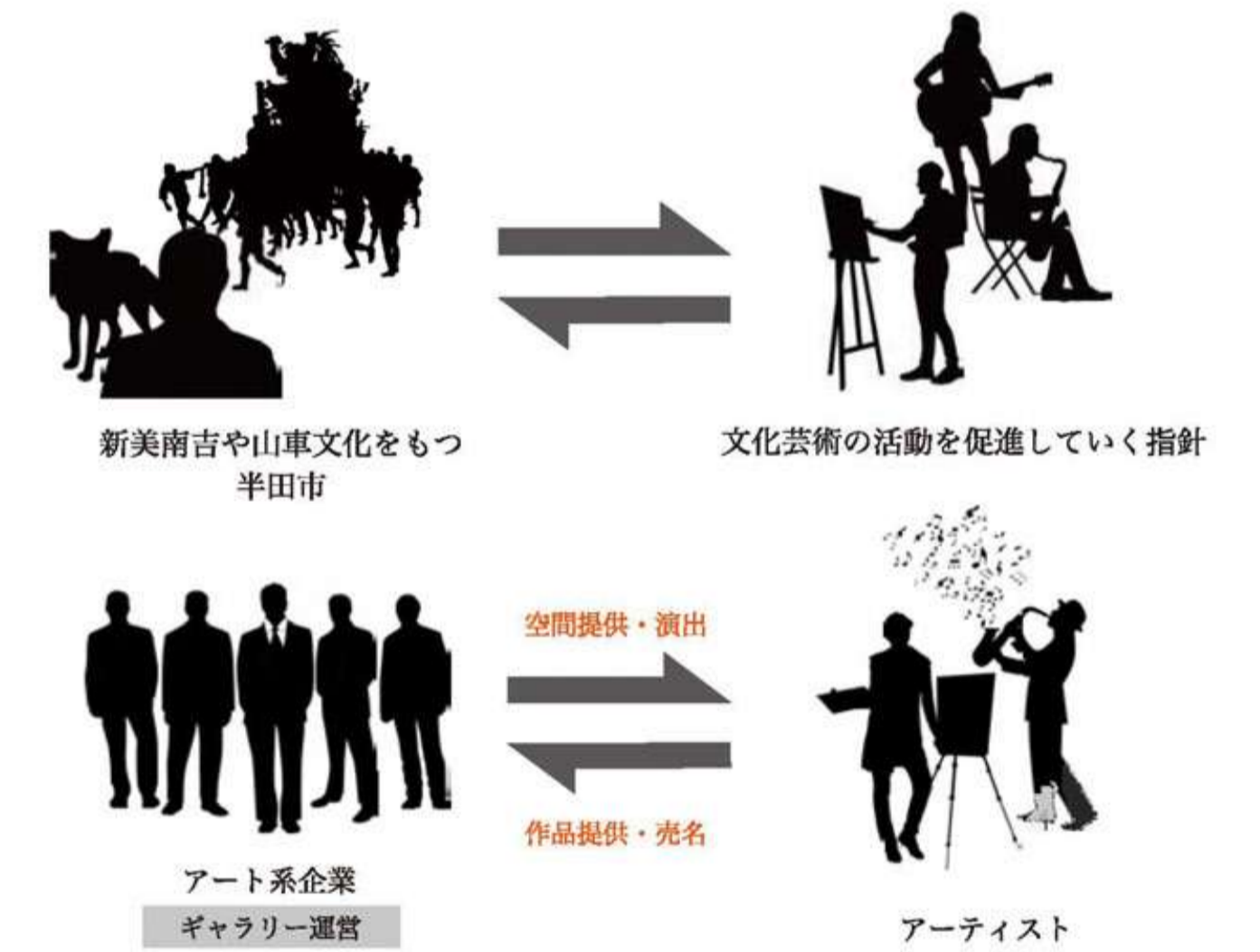
また、JR半田駅の下に開けたマルシェの空間とする事で、東西の交流も活発になる。さらに、高架下に南北に伸びた新たな観光地を設ける事で、観光客の増加と北側に位置する赤レンガ建物といった観光地を結ぶ役割も果たす。

高架と周辺環境コンセプト図



高架化される前は、線路により街が分断されてしまっていた。しかし、高架下に緑化や木質化した建物を取り入れる事により東西の繋がりがりや高架という構造体に地球環境を配慮するという新たな効果が生まれる。

半田市と文化芸術ダイアグラム

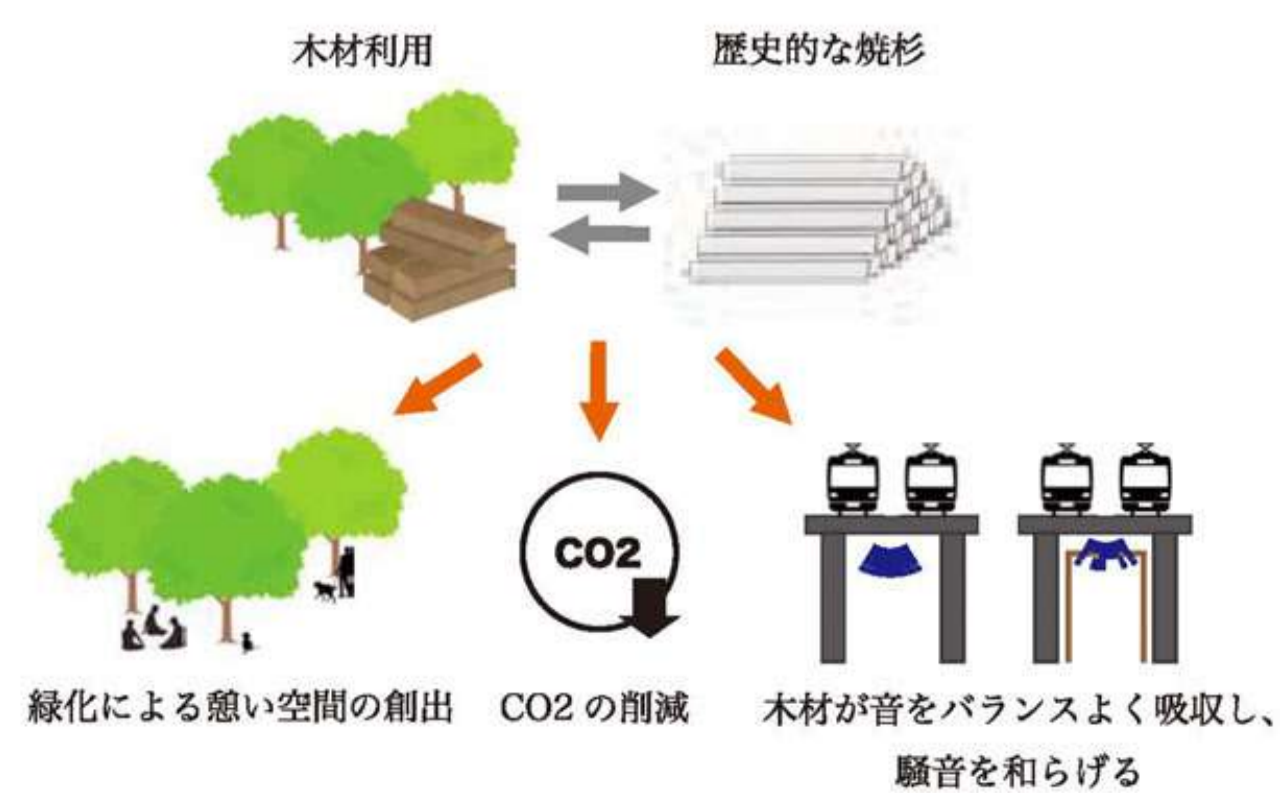


半田市は新美南吉や山車文化により文化芸術を推進しているため、高架下にアート系の企業のオフィスをとり入れ、より文化芸術にあふれる街に繋げる。

研究の構成

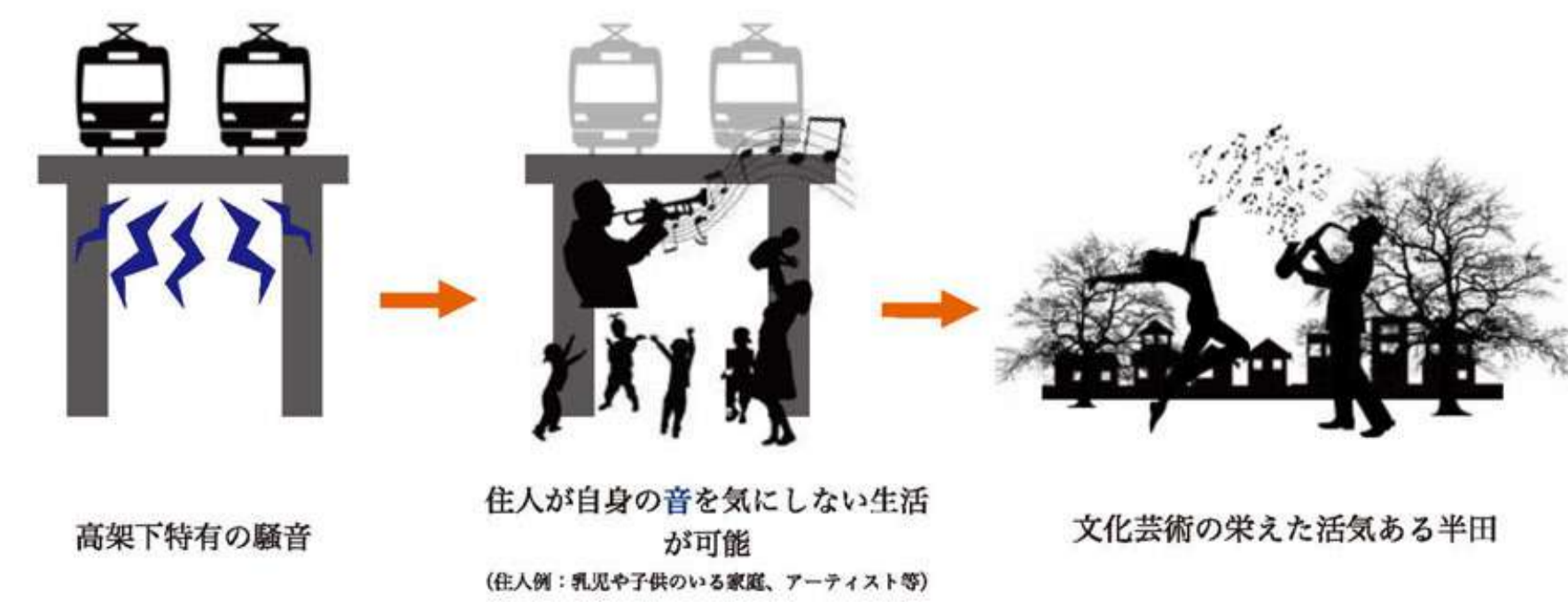
- I. 研究の概要  
1.背景 2.目的 3.位置付け
- II. 設計条件の整理  
・人口減少と外国人人口の増加（歴史文化、非言語コミュニケーション、異文化交流）  
・SDGs(緑化、木質化、住み続けられるまち)  
・観光客、新規住人（産業、新たな魅力づくり）
- III. 設計提案  
木造集合住宅、木造施設の提案

木造利用ダイアグラム



環境を配慮し木材を積極的に利用する事で、二酸化炭素減少や騒音の緩和、緑化による温度調節や騒音抑制、心理的効果が得られる。半田市の蔵に使用されている焼杉も木であるため半田の歴史や文化に繋げる事が可能になる。

騒音と空間ダイアグラム



高架下特有の騒音については、高架下の利用者自身が発する音を気にしない生活ができる事としてメリットに変え、特に高架下住宅の住居人の対象として幼児や子供のいる家庭やアーティストなどを対象とする。

# 高架下周辺地区木質化計画



高架エリアの東西に位置する主要建物であるミツカン本社と CLACITY の木質化・緑化を行い、東西への木のまちづくりを促す。



**集合住宅**  
高架下の集合住宅では、自らの音を気にしないで生活できる為、アーティストや子供連れの方をターゲットとしている。

**図書館兼託児所**  
図書館兼託児所では、特に集合住宅や北側の小学校に通う学生やその家族、周辺の子育て世代の利用が見込まれる。また、大きな中庭には木のまちなかのシンボルツリーを設けた。

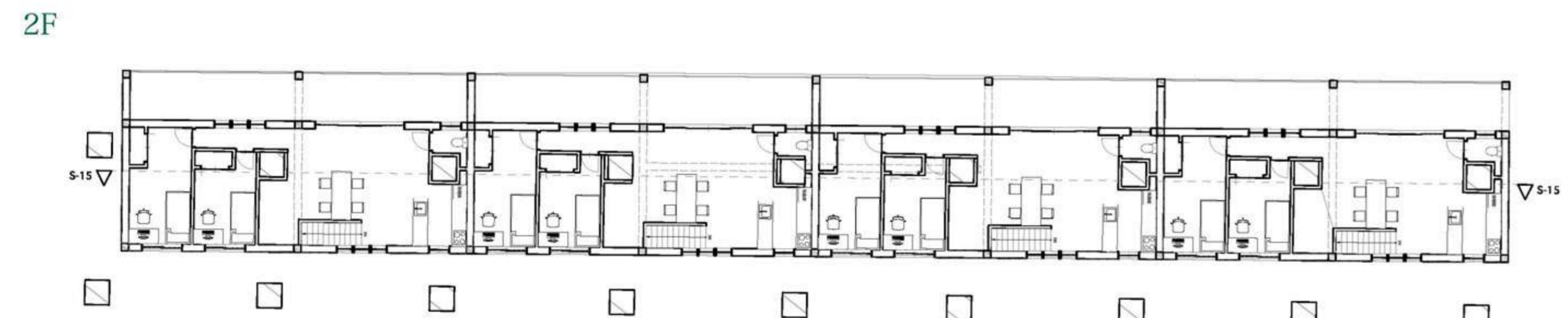
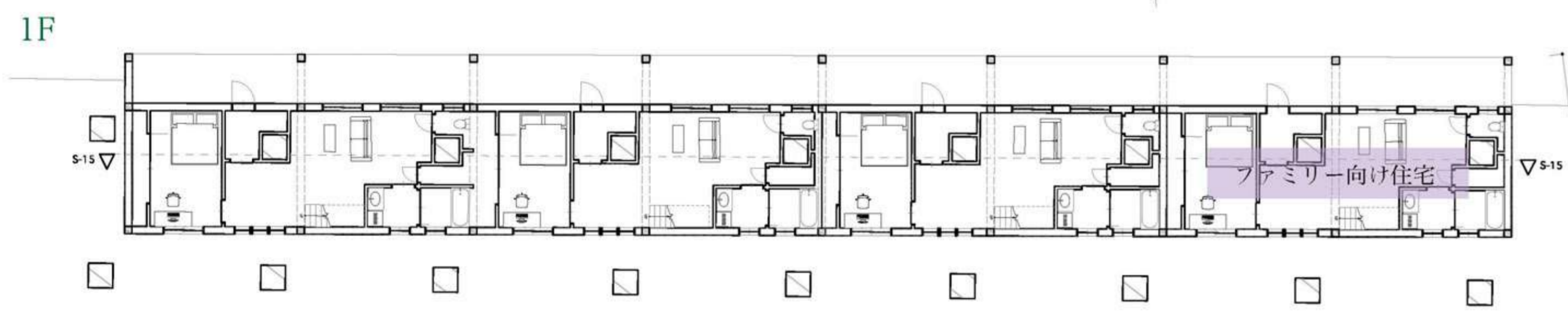
**駅前マルシェ**  
駅利用者や高架下の住民、地元の方、観光客、全ての人をターゲットとし、新たな賑わいの場となる。マルシェが開催できる広場を設け、東西の交流が生まれやすくなっている。また、緑を感じられる憩いの場として2階にテラスを設けた。

**オフィス**  
芸術文化に深く関わる半田市に、アート系企業とスタートアップ企業のオフィス機能を取り入れ、新たな産業の発展を目指す。

**多目的展示室**  
アート系企業と連携したアーティスト達の作品を主に展示する場であり、作品を通して人々の交流が生まれる場となる。

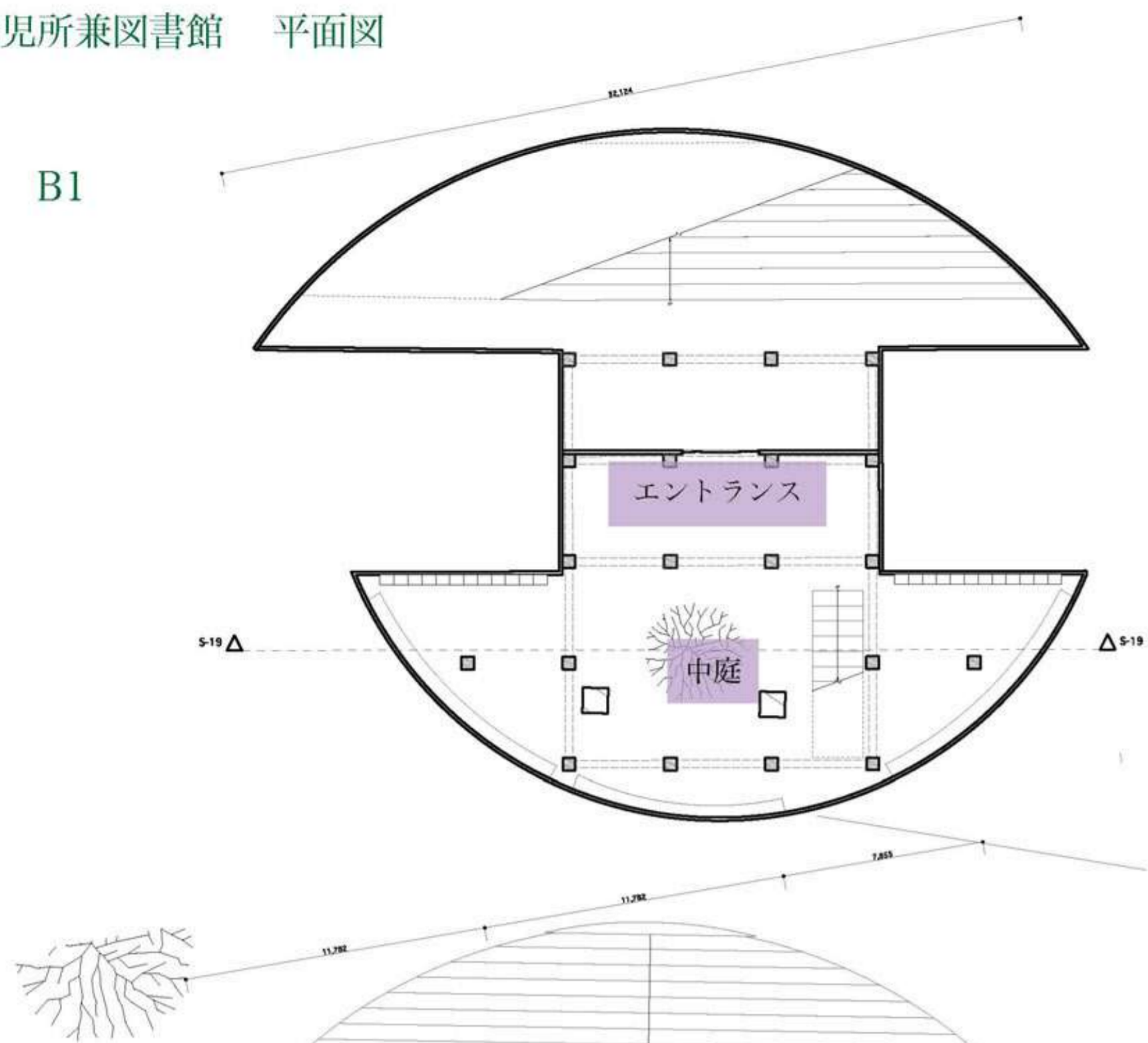
**複合体験施設**  
1階にはアーティストの単身者向け集合住宅があり、地下には作業スペースとステージを設けた。複合体験施設は1番南に面しており、ステージを設けることで視覚・聴覚的に南側からの人の流入を目的としている。

## 集合住宅 平面図

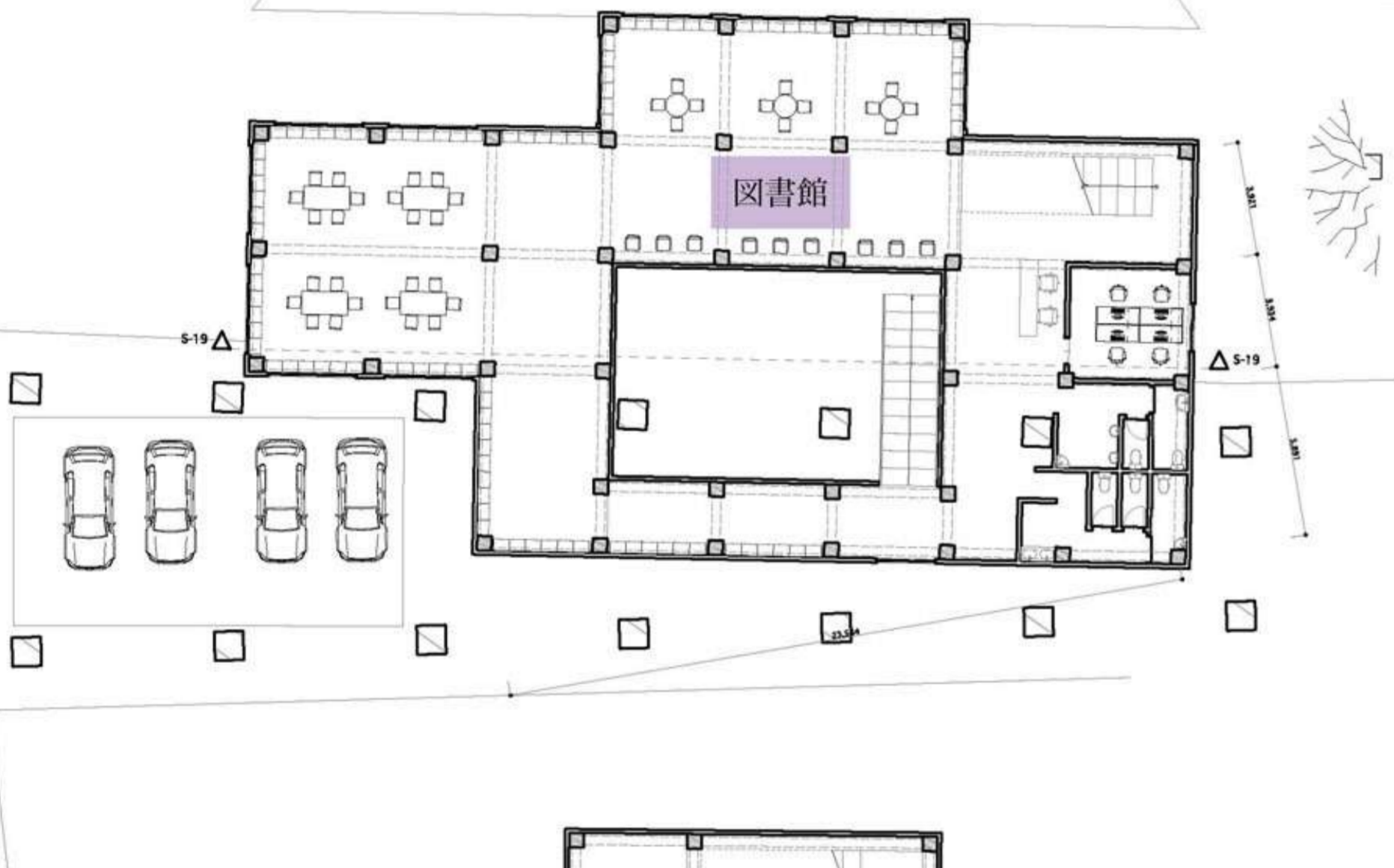


託児所兼図書館 平面図

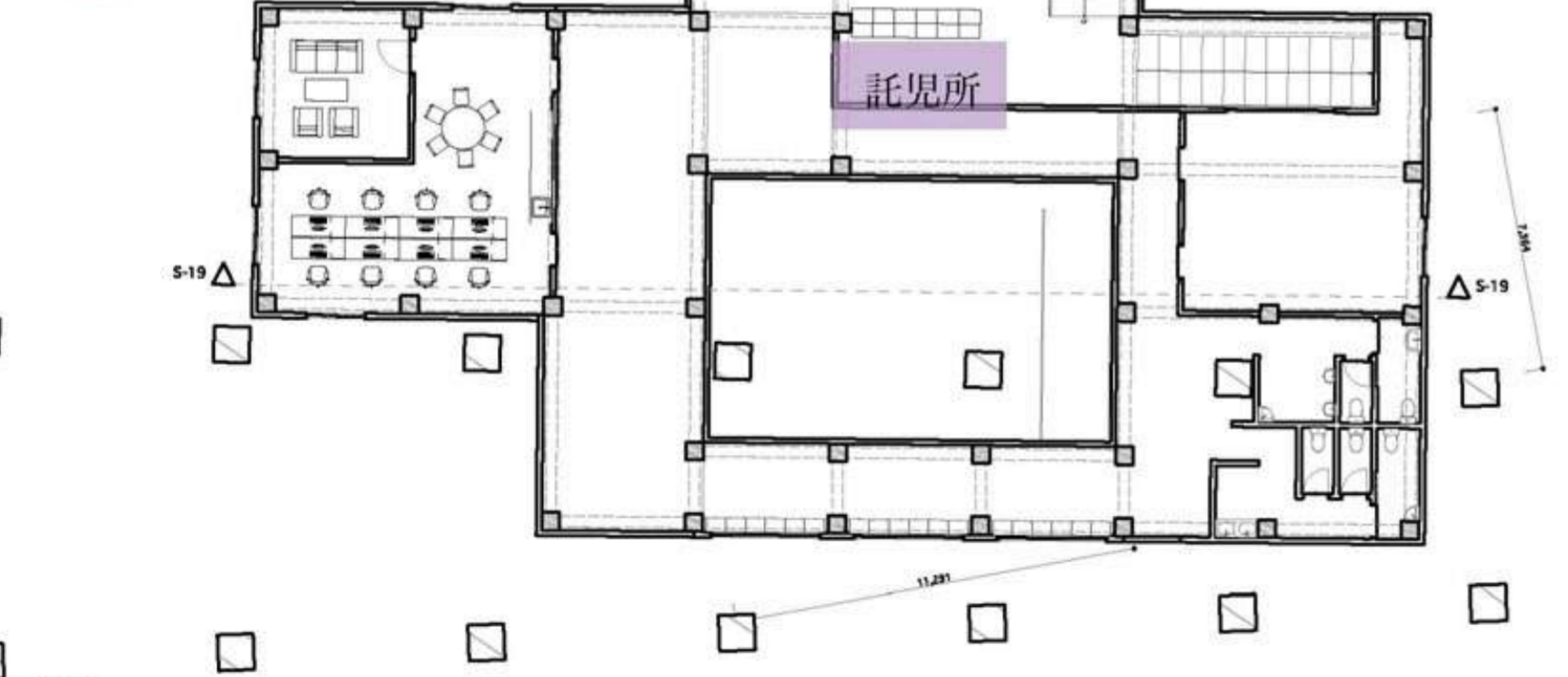
B1



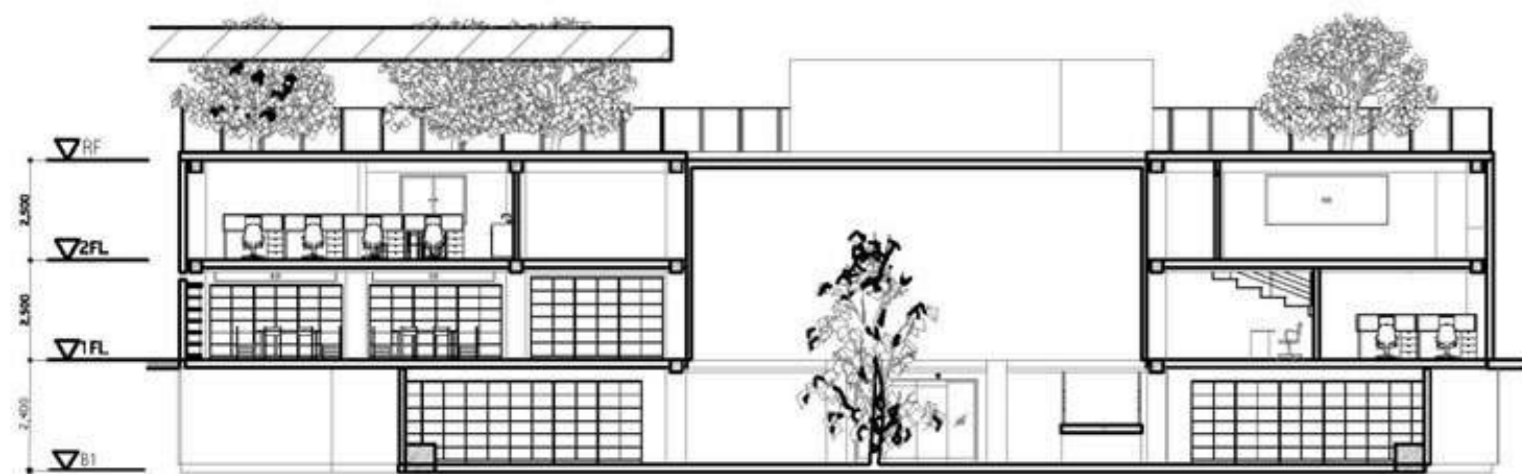
1F



2F

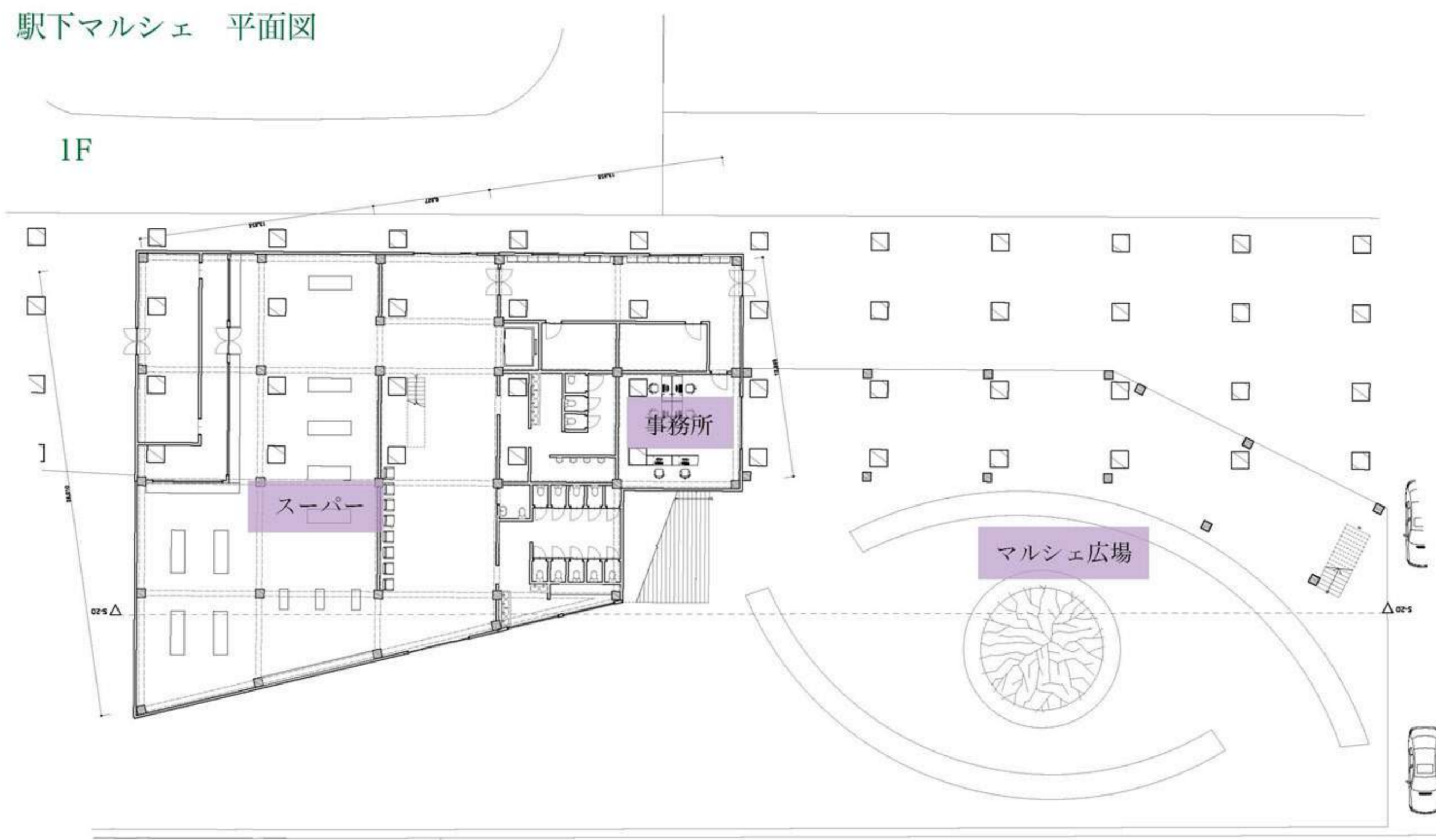


断面図

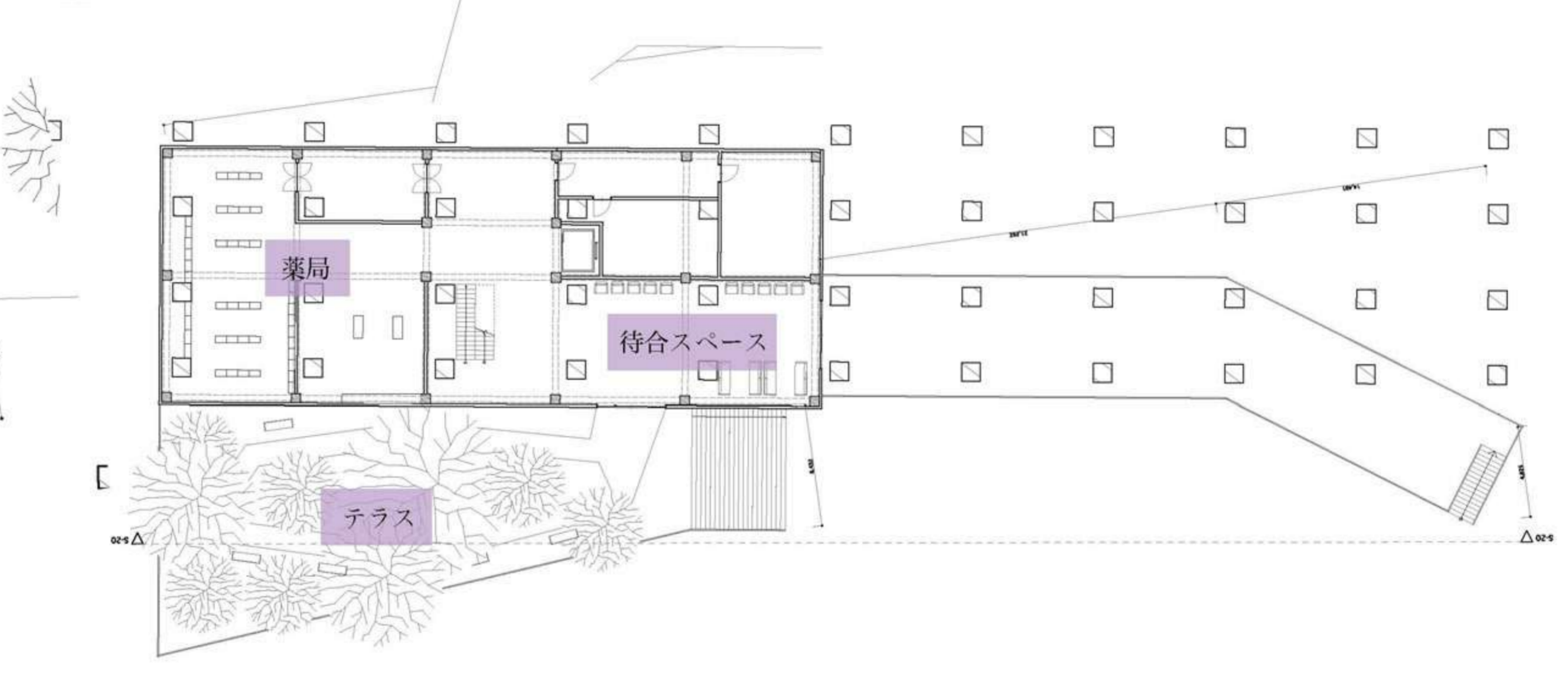


駅下マルシェ 平面図

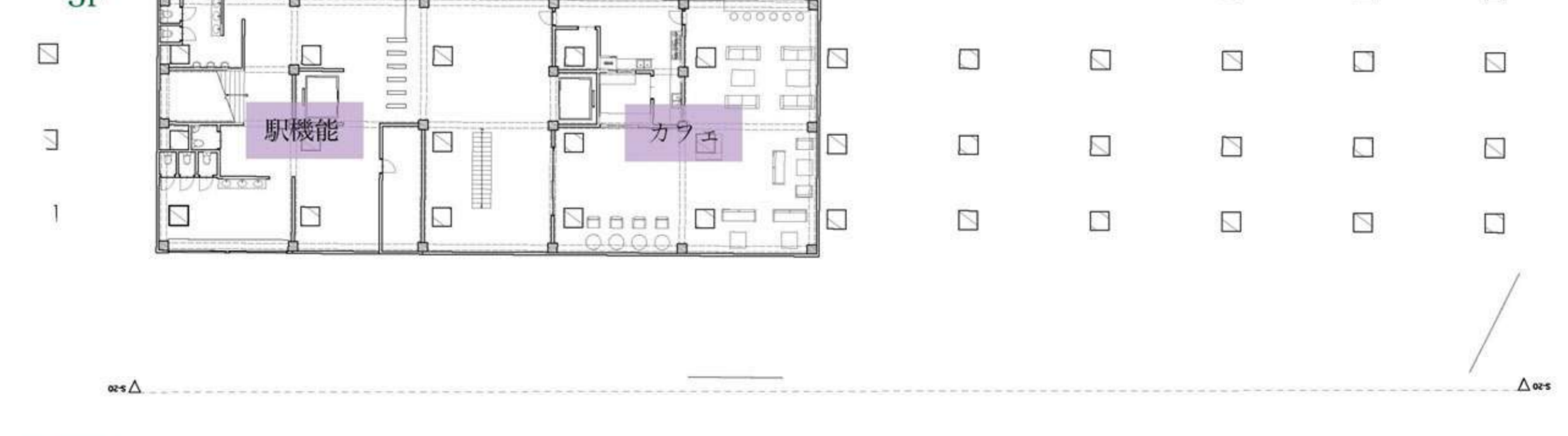
1F



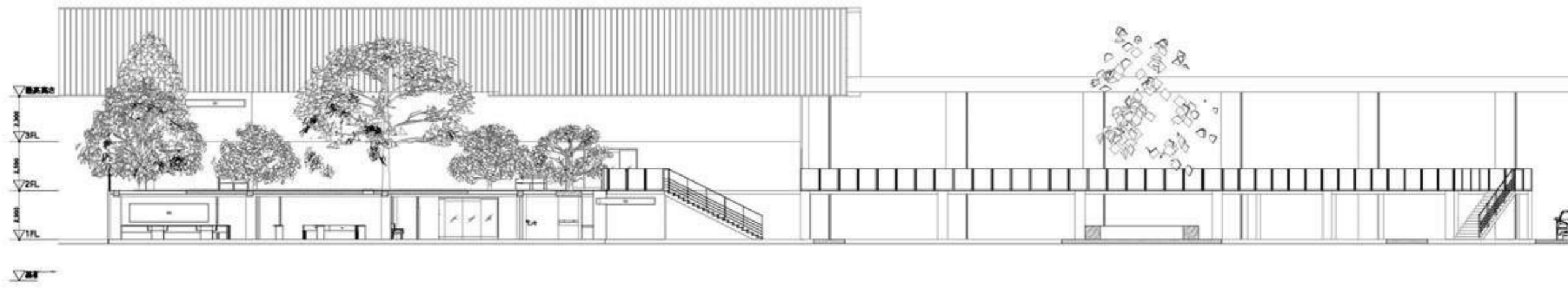
2F



3F



断面図



半田駅と高架下  
駅下マルシェにより人々の賑わい生まれる。



地下と中庭  
地下に繋がる大階段により新たな憩いの場生まれる。

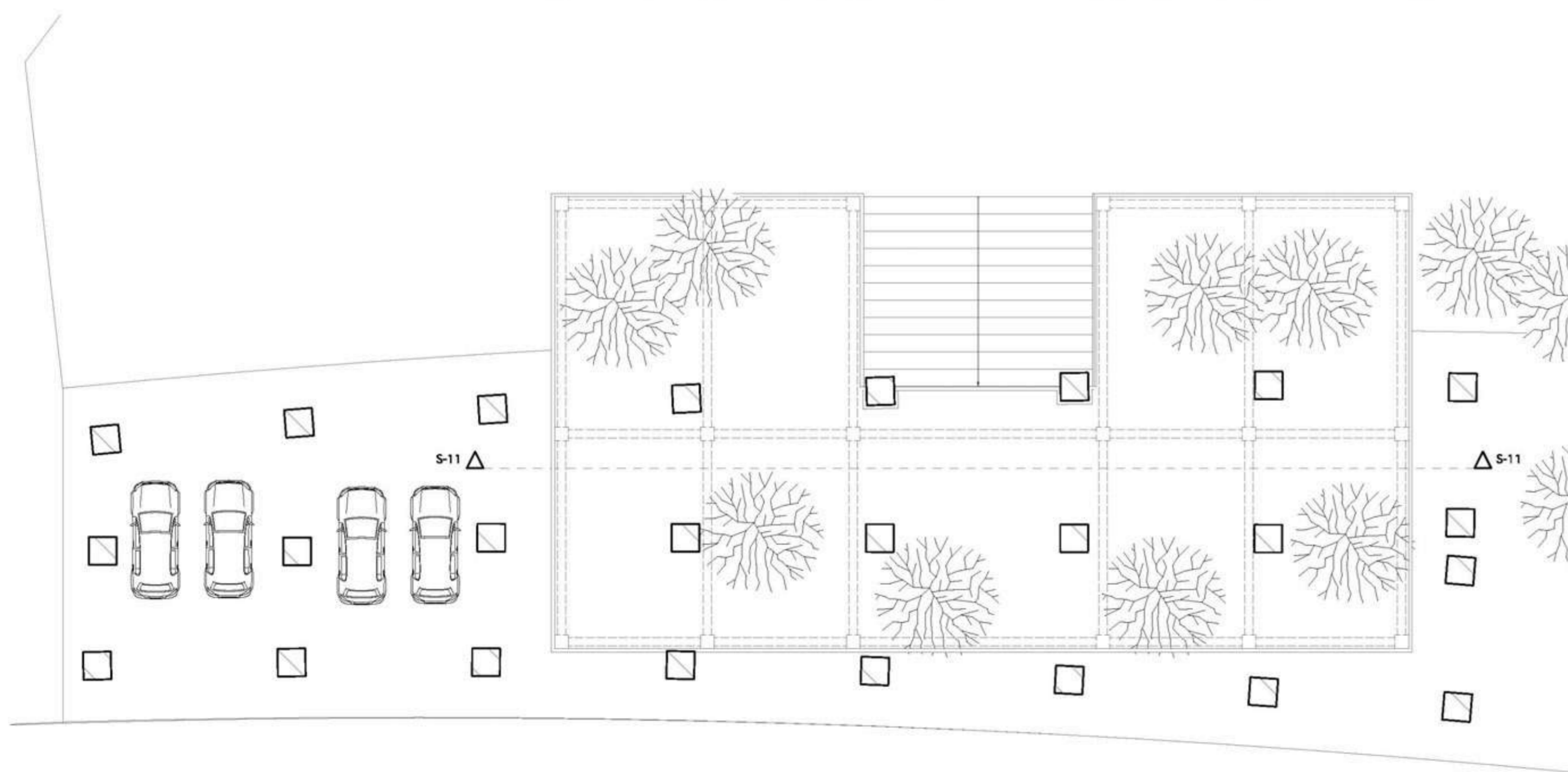
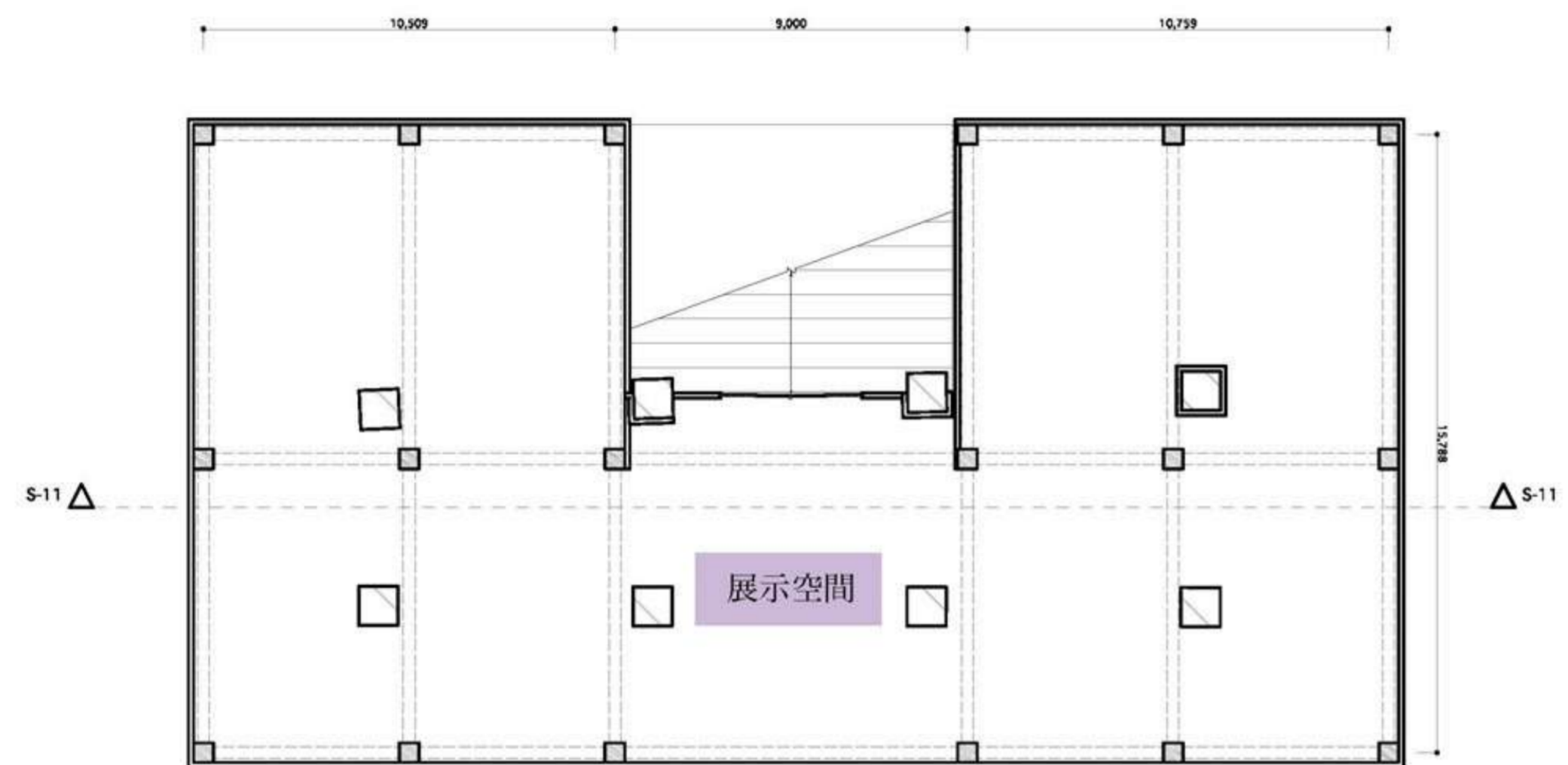


シンボルツリー  
中庭の木を開くようにして図書館と託児所が機能している。

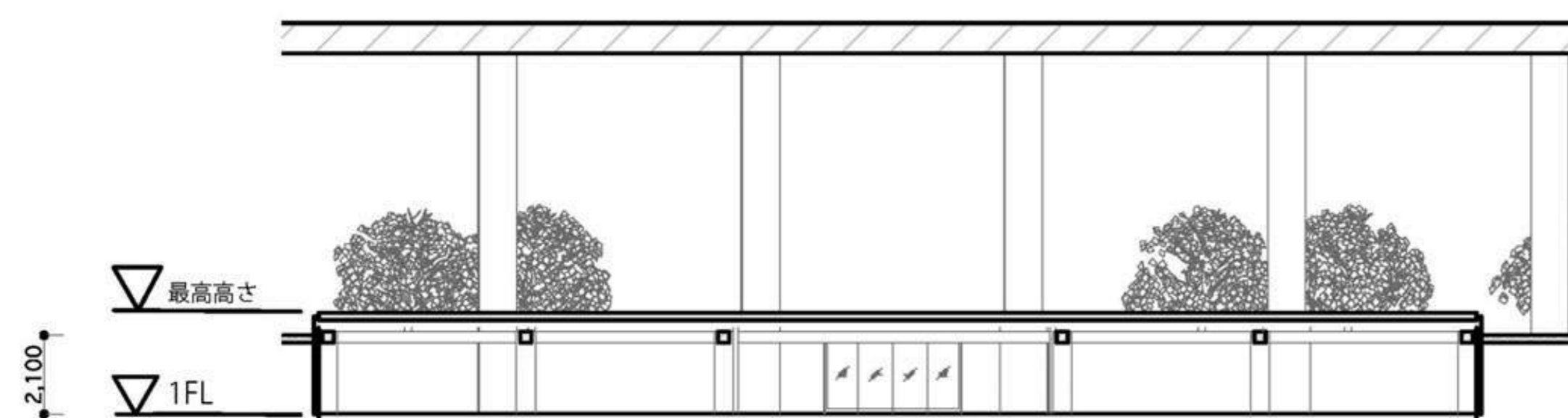


多目的展示室 平面図

B1

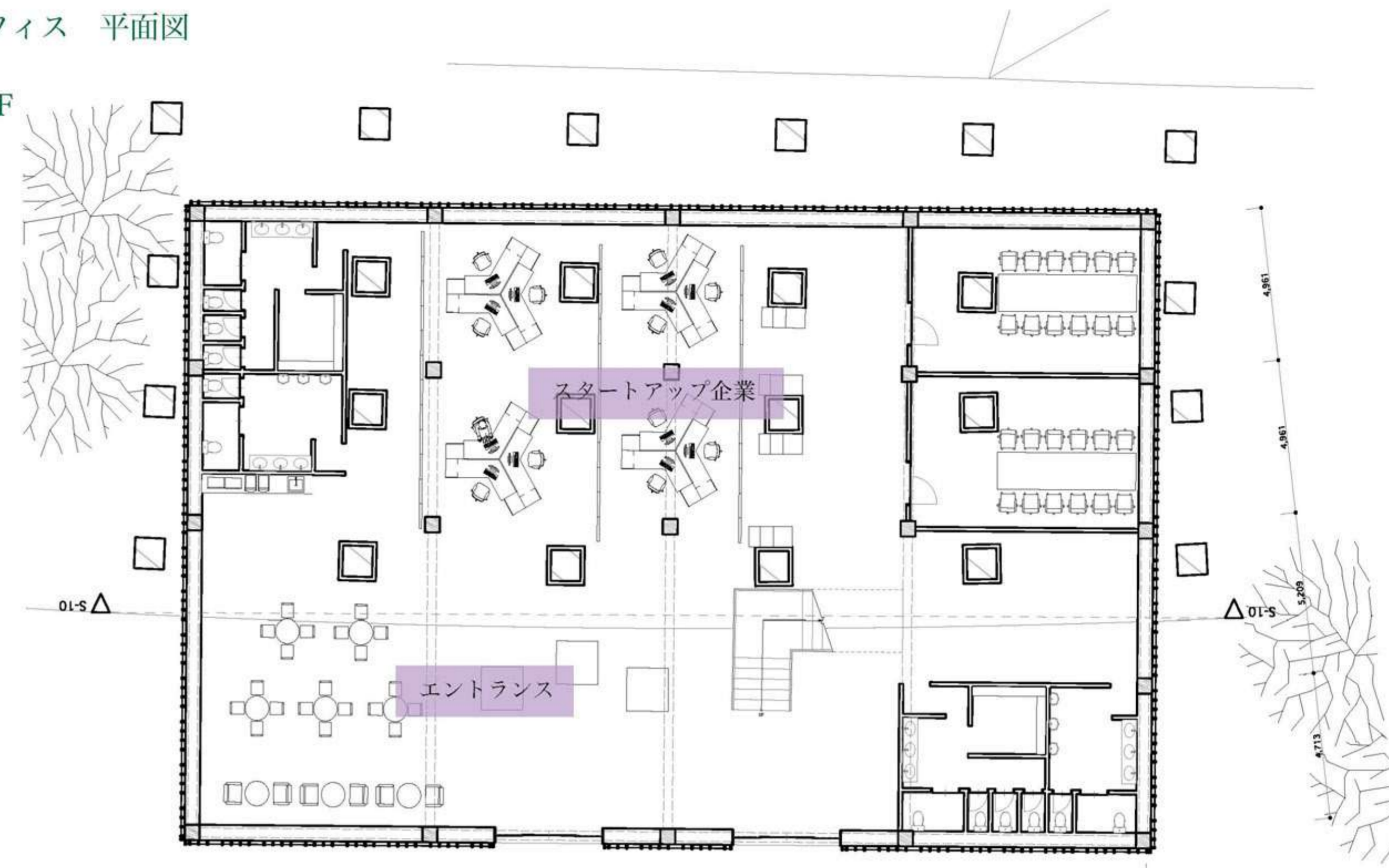


断面図



オフィス 平面図

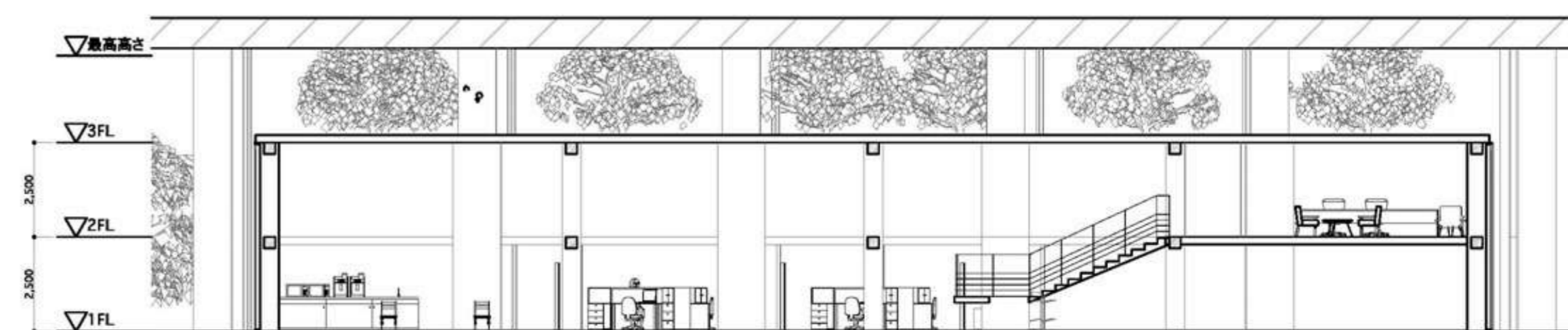
1F



2F

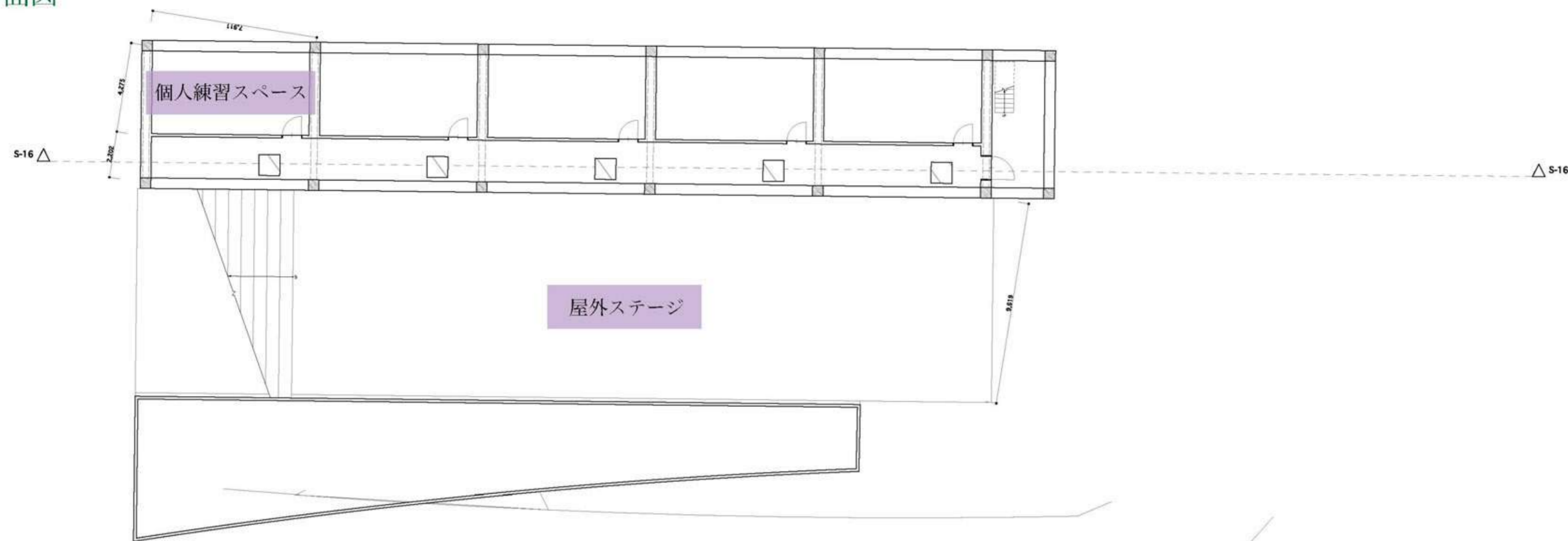


断面図



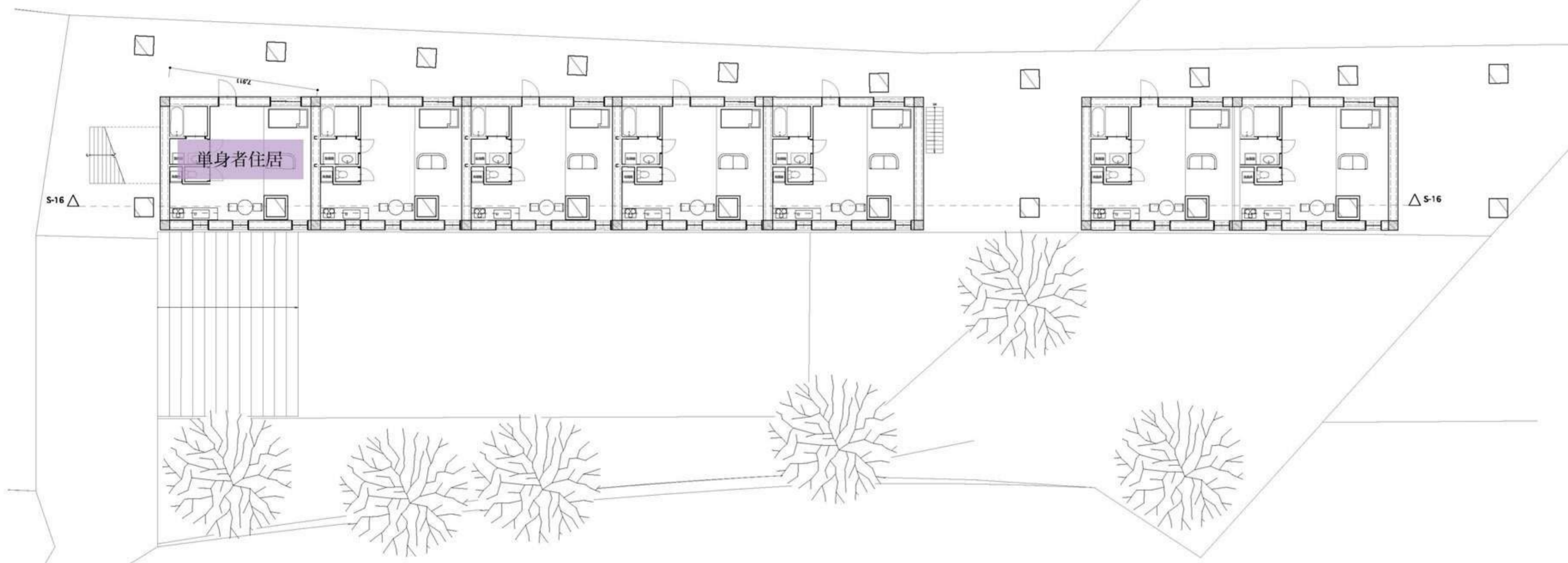
複合体験施設 平面図

B1



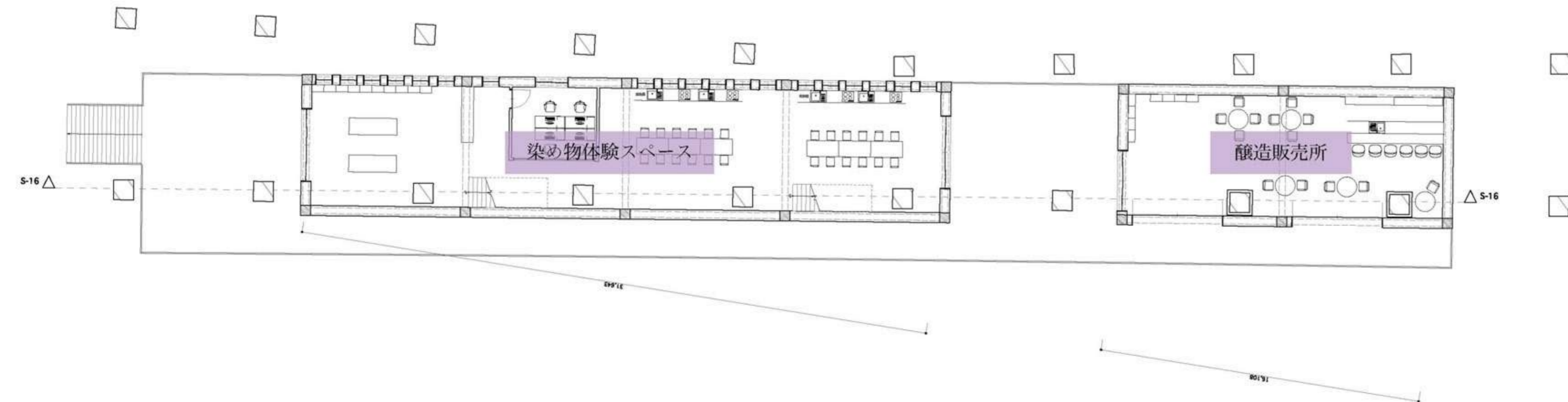
大きな吹き抜け  
同じ半田市の産業を担うものとして交流しやすいオフィス空間。

1F



染め物体験  
半田市の伝統文化を知り、伝統を受け継ぐ。

2F



南に面したステージ  
屋外のステージにより、新たな憩いの場としての機能と南側からの入々の流入を目指す。

断面図

